住んで・滞在して味わう贅沢な情景

季に時々に光を感じ、光に心を動かし、光のつくりだす姿に礼拝

感光・感動・感謝

人は、「梶目の大嶋・筑前大嶋・宗像大島」と呼び・記し・語り伝えてきた。

「癒しの島　大島」

宗像四塚（金山）からの日の出に染まる大島漁港

２月早朝「神郡宗像」の空が紅く染まるころ

本土へ向かう始発便の渡船が出港する

渡船が本土に向かう間に

宗像四ッ塚（金山）に陽が昇る

紅く染める朝陽は、

本土と島との海原に

光の道を浮かべ

中津宮の鳥居に

抱かれていく

鳥居に抱かれる朝陽は

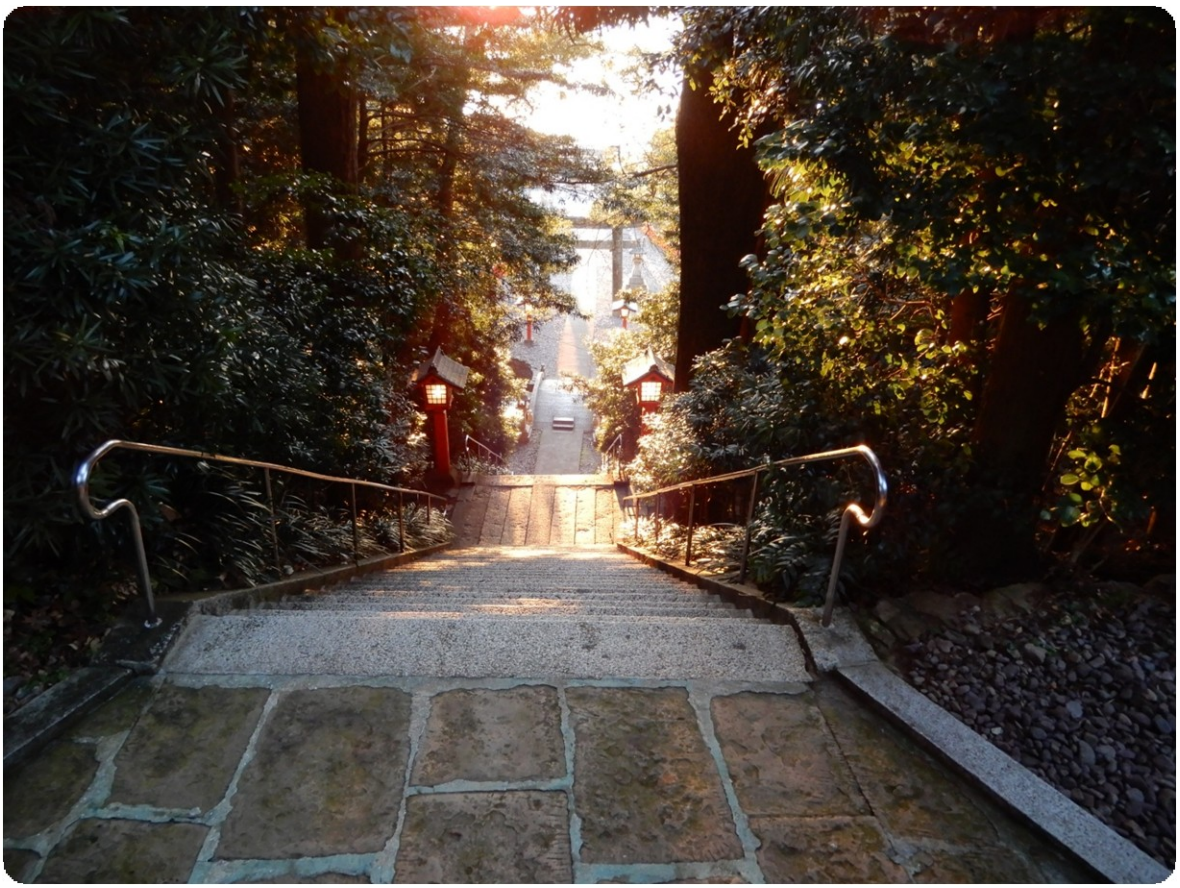
少しずつ参道を照らしてゆく

中津宮の鳥居に抱かれる朝陽で

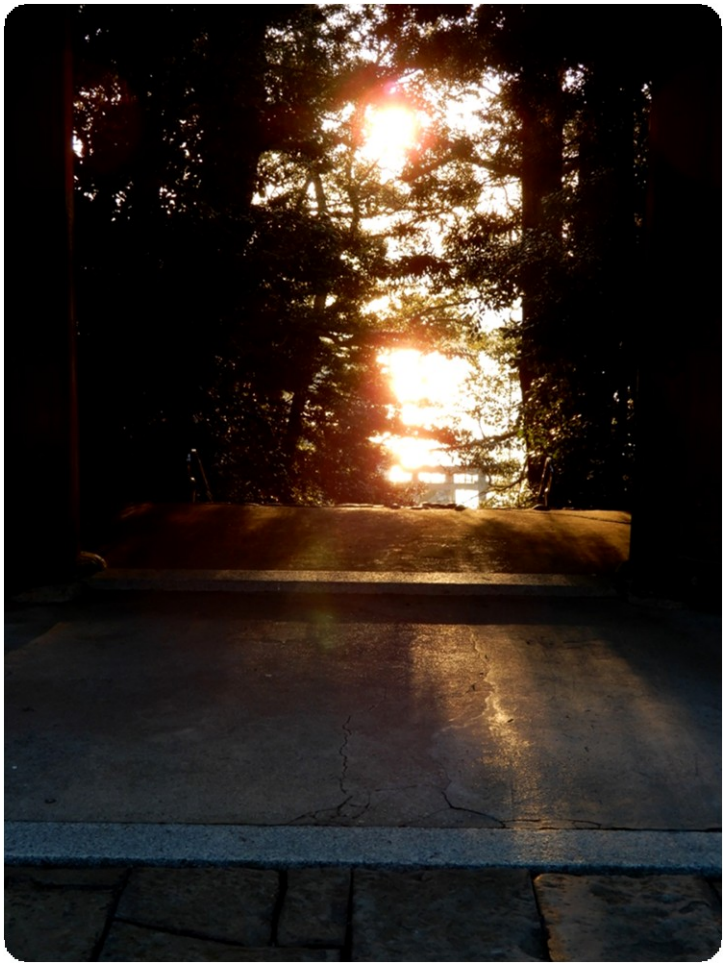
石燈籠に灯りを燈した情景が見える

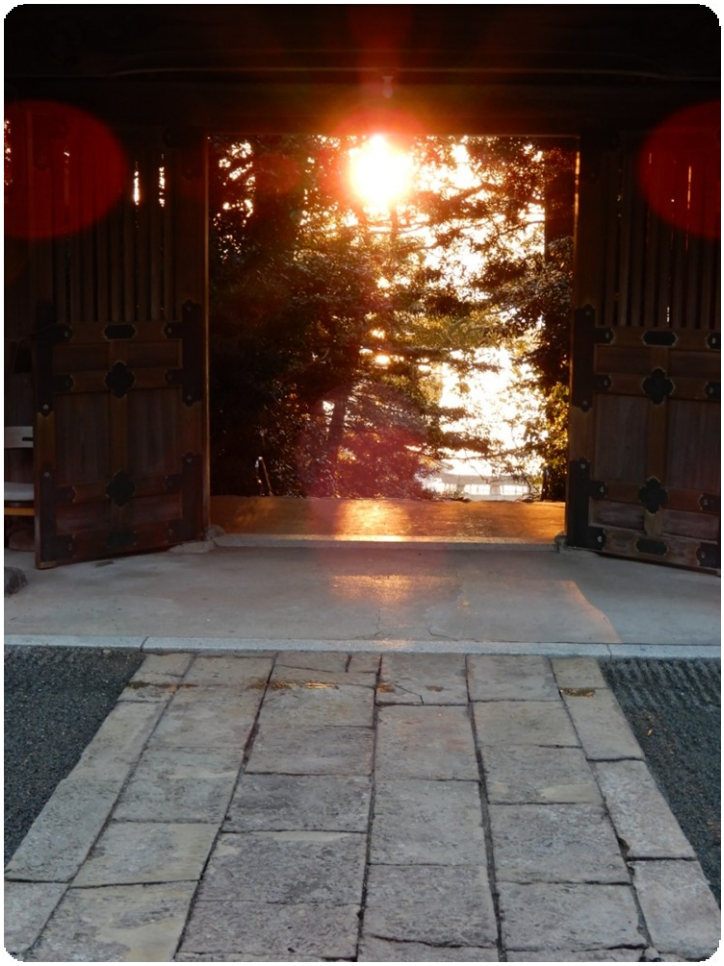
鳥居は、本殿に続く階段にその影を映していく

時が刻々と境内の様子を変化させ、陽は階段を上る



陽は階段を上り、山門へと入っていく





拝殿前の石畳は朝陽に染められていき、徐々に拝殿を照らす

「神郡宗像」の空を紅く染め始めた朝陽が拝殿を、

そして「神勅」が照らし出され神々しさを感じる

時が経過し、本殿の上に陽が昇り全国的にも稀な

鰹魚木が堂々と見えてくる

天の眞名井に神代を感じ、ご神水をいただく

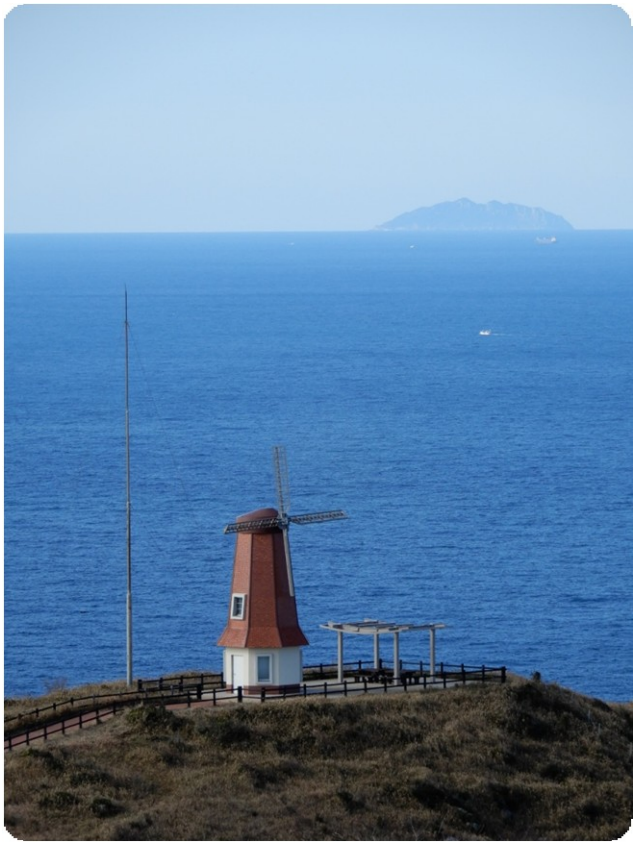
昼を迎える頃、「神宿る島　沖ノ島」を遥拝する人たちが

好天に恵まれ、見える沖ノ島に感動

大島から「神宿る島　沖ノ島」を望み

感動・感謝の心で

（日本海海戦戦没者慰霊碑より）



（風車展望台と沖ノ島）

大島から「神宿る島　沖ノ島」を望み

感動・感謝の心で遥拝

（展望台より）

（漁火橋より）

「神宿る島　沖ノ島」の姿　　絶景かな絶景かな

（津和瀬丸山から見る沖ノ島）

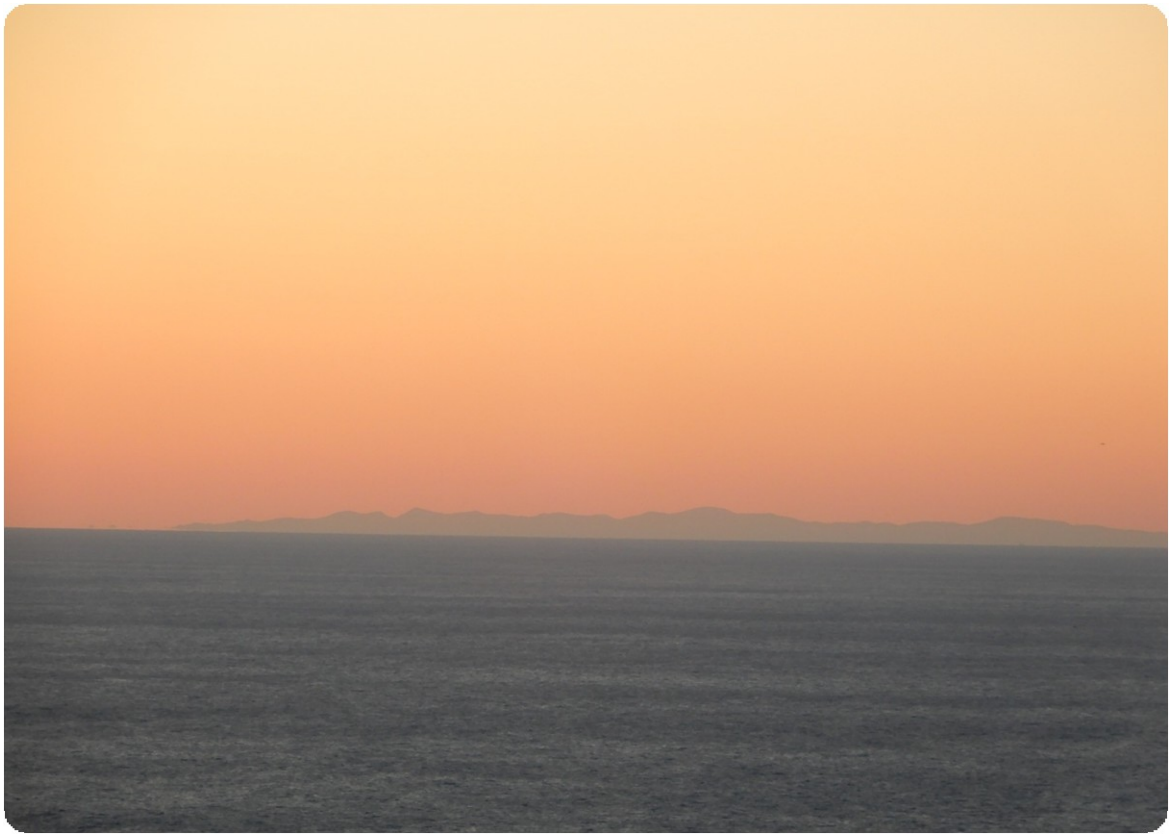
（遥拝所正三位社から見る沖ノ島）

時は経ち、陽は西の空を紅く染めていく

（沖ノ島の空も紅く染まる　遥拝所裏から）

（遥拝所沖を航海する輸送船　浮島状態で見える沖ノ島）

夕暮れは、沖ノ島・壱岐･対馬の空も紅く染めていく

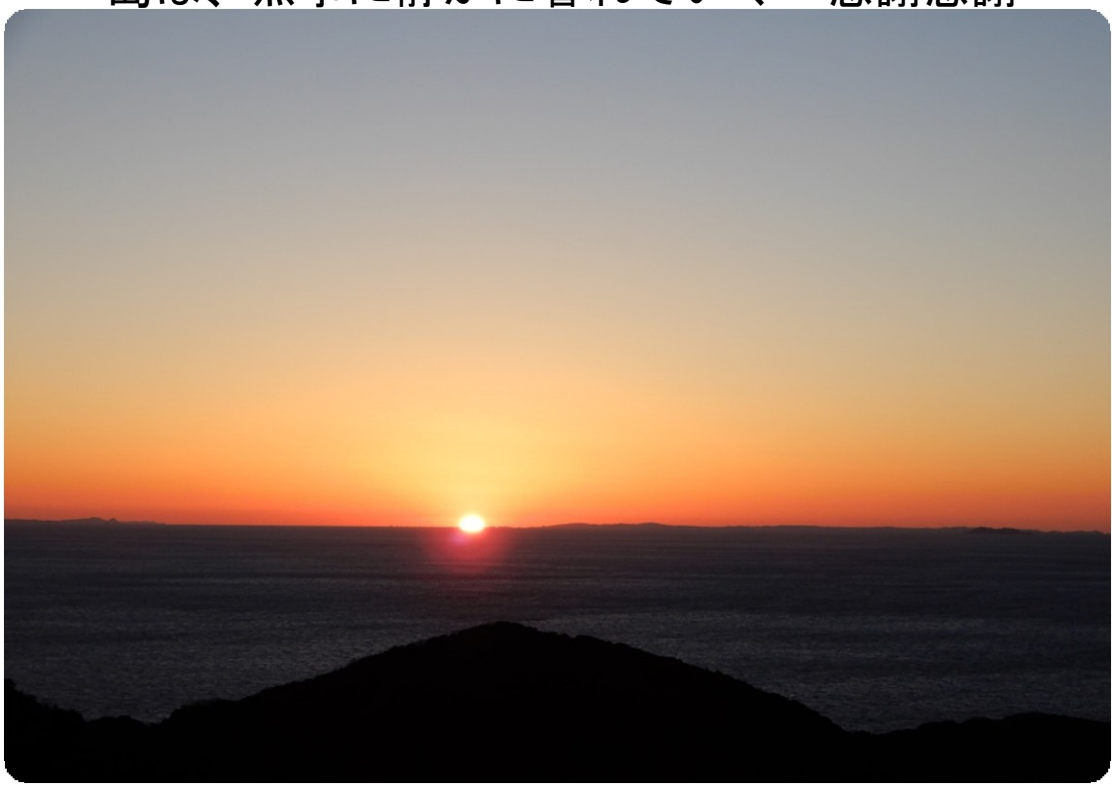


（紅く染まる壱岐の島　展望台から）

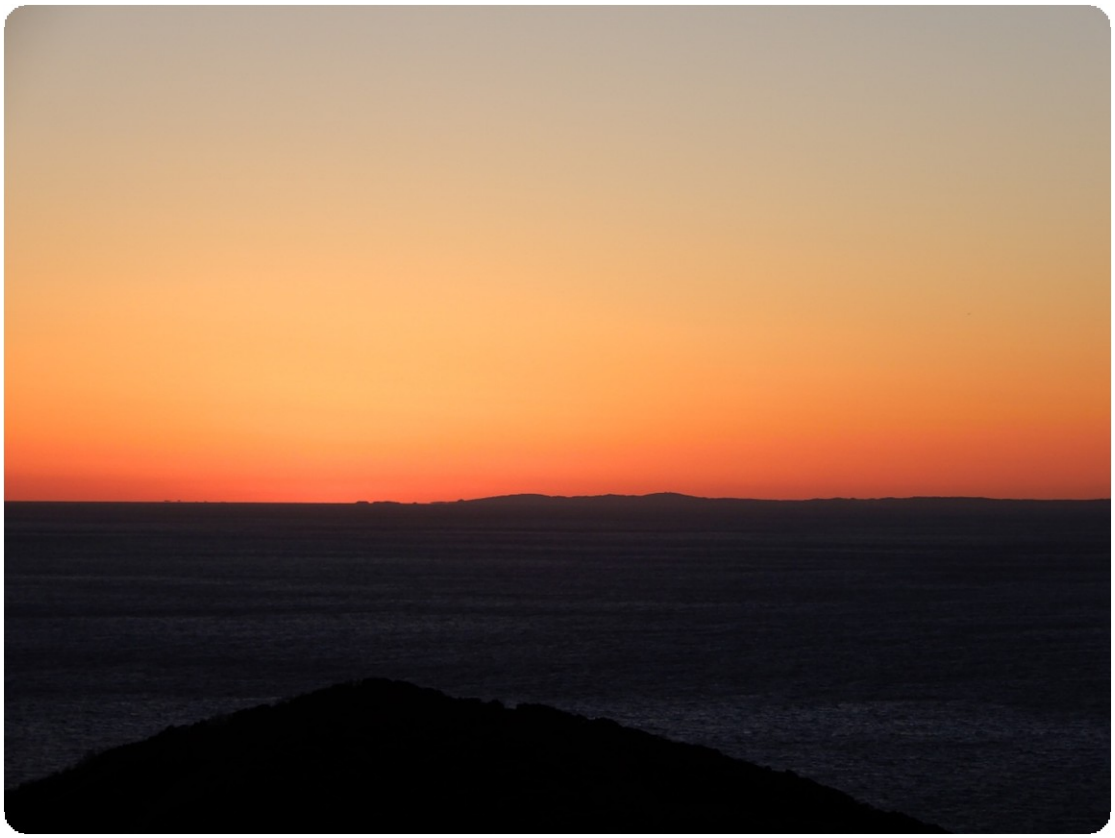
（壱岐の島を背景に姿を見せる　福岡市の小呂島）

宗像の空を紅く染めた陽は西に沈み

島は、無事に静かに暮れていく　感謝感謝



（壱岐の島に沈む夕陽　展望台から）



（明日もまたいい日であります様に　沖ノ島に祈る）

御嶽山展望台から１８０度のパノラマ

（鐘崎漁港の背景には、北九州の街や皿倉山・工場の煙突が見える）

（宗像市池浦の焼却場や城山・新立山等も見える）

御嶽山展望台から１８０度のパノラマ

（左端には、自由ヶ丘南小・遠くらくだのコブの形の英彦山が見える）

（福津市街・白く横に広がった福津イオンもよく見える）

御嶽山展望台から１８０度のパノラマ

（背振山系の手前にＪＲ千早駅や香椎のマンションが見える）

（新宮町の相之島・志賀島と博多湾の能古島が見える）

「神宿る島　沖ノ島」の姿　絶景かな絶景かな

（砲台観測所から見る沖ノ島）

（神崎灯台と沖ノ島）

大島から、こんな絶景も・・・・

（朝陽に染まる大島漁港と遠く英彦山が見える）

大島から、こんな絶景も・・・・

（湯川山からの朝陽に染まる大島漁港）

（夕焼けに染まる頃の砲台と風車展望台から沖ノ島を望む）

　本土から、帰島する人を・街の人を・香りを・食料を・物資を・車を・・・

　そして、文化を運んでくる渡船が、夕暮れの陽射しを受けて、今日も勢いよく大島へ入港する。

　大島で生まれ、育ち又島で生活してこられ、季節ごとの自然が織りなす素晴らしく、感動する情景を眼にしてこられた「板矢英之」様からご提供をいただいた大島の情景写真です。ご本人の許可を得て掲載させていただきました。